

# 東松島市医師団リレートーク 第4回

～医療現場のドクターからのメッセージ～



今回の医師団リレートークは医療法人社団石垣会石垣クリニック内科・循環器科 石垣英彦院長から在宅医療についてお話しいたします。平成29年3月に策定した東松島市医療福祉サービス復興再生ビジョンには、自分らしく暮らし続けられるまち東松島の実現のため、在宅医療と介護連携における体制整備、サービス資源の確保、住民への普及啓発と相談機能の強化が位置づけられました。今回ご紹介する在宅医療と介護サービスの連携実現は、まさしく理想的な取り組みと言えます。

計画的な訪問診療による24時間、365日の安心によって、自宅に居ながら入院と同等の安心を提供する「在宅医療」の取り組みについてご紹介致します。

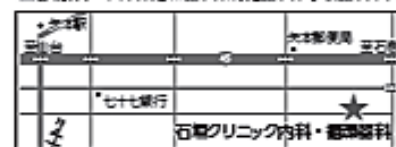


石垣クリニック内科・循環器科

いしがき ひでひこ  
石垣 英彦院長

| 診察時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:00  | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 17:00~18:00 | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ |

■診療科 内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、小児科



東松島市矢本字大林14



石垣先生からの  
健康基礎クイズ

(○×で解答)

1. 訪問診療とは計画的に患者さんを訪問し診療することであり、往診とも言う。(○か×で回答)
2. 訪問診療に薬剤師が同行すると、医師と薬剤師が同時に症状を診るので、より患者に合った処方と投薬が可能となる。(○か×で回答)
3. 医療と介護が連携することは東松島市の将来に必要なことである。(○か×で回答)

正解者には抽選で「ゆぶと利用券3枚セット」を3人の方にプレゼントします。応募方法については質問受付欄(左記)を参照いただき「健康基礎クイズプレゼント係」と明記ください。

※健康基礎クイズには株式会社コスモスポーツ様から協賛をいただいています。今後も健康に関する重要情報をクイズ方式で出題し、知識の定着を目指します。また、協賛企業の募集は随時行っていますので、問い合わせは下記までお願いします。

■問 健康推進課健康支援班 ☎内線3101

## 在宅医療のはじまり

平成5年に旧石垣医院の跡に新たに開業し、入院設備を持たずに始めた分、来院できない患者さん方を対象に往診をしてみました。現在は、脳梗塞後遺症、経鼻経管からの栄養や胃瘻から栄養を入れている方、重度の呼吸器疾患で酸素療法を行っている方、また、がん末期で緩和医療の方など様々な患者さんを対象に、100人を超える患者さん方へ週4日・午後には訪問診療に伺っています。

## 4人の専門職でワンストップ往診

訪問診療には、看護師、薬剤師、助手そして私の4人が1台の車に乗り移動します。訪問日当日朝、患者さんに電話して様子を伺います。変わりないのか、調子を崩しているのか、変化があればどのような状況なのか前もって伺い、訪問メンバーの中のみならず、クリニック、薬局と訪問診療に関わる全てが情報共有することで、その日の診療方針や検査などを合せて、時間の無駄のないようにしっかりと必要な準備ができます。

訪問診療に薬剤師が同行するメリットは、患者さんの状況をその場で共に確認でき、薬剤の変更や調節が必要な場合にその場で相談ができることです。特に褥瘡の患者さんは、微妙な軟膏の調節が必要であり、その薬剤についての相談ができることです。また、患者さんやご家族が、薬剤の説明をその場で直接薬剤師から聞くこともメリットとしてあげられます。

## 看取りと医療の位置関係

在宅の患者さんには、高齢者や、がんの末期の方も多いと思います。このような方々は病状が刻々と変わるので、訪問看護ステーションとのタイアップにより、頻繁な症状の観察や、適切な医療の提供が必要となります。また、当然ながら適切な介護サービスも必要になります。

一方、家族間の関係についても配慮が必要になってきます。末期がん患者さんは、かなりの苦

しみを味わっていますが、それを支えるご家族も同様の苦しみを味わっているものです。命の終わりが誰の目にも明らかになりつつあるとき、医療を提供する側でさえ立ち位置が難しいことが多々あります。「看取り」と一口に言いますが、一つのパターンで見送ることなどできないものです。

## 理想を現実化した「太陽の家」

東日本大震災後、国は在宅医療を推進し「在宅で幸せな終末」というイメージが浸透しました。

しかし、患者さんが在宅となった場合には家族の負担が大きくなってしまいますし、施設入所していても、容体が急変すると施設には居続けることができなくなるといふ現実があります。このような苦しい現実にも直面し、せめて最後の時間ぐらには幸せに迎えてほしいとの考えから、「太陽の家(カーサ・マリソル)」を建設しました。館内にはケアステーション・デイサービスセンターを併設しているうえ、当院の隣に立地しているため、福祉と医療のサービス連携を実現しています。

本来は、在宅でこのような切れ目の無いサービスを提供する体制が理想です。そのような地域社会の実現に向け、今後も自分ができることを継続していきたくと考えています。

## 「質問受付欄」

本コーナーでは、みなさまの知りたい医療に関する情報を募集します。例えば、血圧が高いと健康によくない理由を教えてくださいなど、関心のある分野で結構です。いただいた質問は、専門の先生が登場する回に紙面で紹介し、回答します。「健康基礎クイズ」の答えと先生への質問を記入のうえ、はがき、ファックス、電子メールにて左記までお願いします。

■住所：東松島市矢本字上河戸36-1

東松島市保健福祉部健康推進課

☎ 82-1244

✉ kenko@city.higashimatsushima.miyagi.jp

## 伊東先生の健康基礎クイズの正解は

1. ビロリ菌は胃がん発生における最大のリスク要因である→○
  2. 両親や祖父母がビロリ菌検査で陽性だった場合、子どもが保菌している可能性がある→○
  3. ビロリ菌の抗菌治療が完了すれば、それ以後は胃がんにならないので安心だ→×
- 正解者は鈴木恵子さん(浜井)、神山まさ子さん(矢本)、岩瀬順彦さん(小松)の3人でした。